

引用・参考文献

- 相川祐里(2016) 妊娠期からの途切れない子育て支援 臨床心理士の立場から. 小児看護, 39 (1) 31—38.
- 相川祐里(2018) 周産期におけるメンタルリスクと多職種連携支援. 臨床助産ケア:スキルの強化, 10 (4) 61—66.
- 天野恵子(2006). 「性差医療」：現況と展望. 臨床婦人科産科, 60(6), 830-835.
- 天野恵子(2010). 性差医療の考え方を取り入れた女性の健康支援の必要性. 保健師ジャーナル, 66(3), 172-179.
- 浅野睦子(2019) 「出産停止」という危機からの脱出 プライマリーな周産期をつくり出す助産師への支援と部署づくり. 臨床助産ケア :スキルの強化, 11 (2) 70—75.
- 麻生武志(2009). 女性の生涯を通じた健康と母性. 母性衛生, 50(3), 31.
- 福本まりこ(2018) GDM 既往女性のフォローアップ率の低さに対する対策 ー行政における取り組みー. 糖尿病と妊娠, 18 (2) 33—35.
- 藤井律子(2020) 在日外国人妊産褥婦への継続支援の実践のためにベトナム人の妊婦教室を通して. 助産雑誌, 74 (2) 104—111.
- 萩原玲子(2016) 出産後の母親を支える一産後ケアセンターの取り組みー. 別冊発達, 32 214—223.
- 畠山みき子(2018) 地域で女性を支える立場から子育て・女性健康支援センターの活動. 茨城県母性衛生学会誌, 36 38—39.
- 平島奈津子(2015). 女性のライフステージと健康. 公衆衛生, 79(2), 78-81.
- 廣瀬雅代, 澤野真理子, 若林奈津子(2016) 特定妊婦の支援. 臨床助産ケア :スキルの強化, 8 (3) 13—17.
- 平田恭子, 有本梨花, 宮下ルリ子, 奥山葉子, 蒲池あずさ, 嶋澤恭子, 藤井ひろみ, 高田昌代 (2016) 予定帝王切開分娩で出産した女性たちが受けた出産準備教育の実態. 神戸市看護大学紀要, 20 43—51.
- 平藪朋子, 盆子原幸子, 澄川恵子(2017) 心身に障がいを持った妊婦への保健指導. 臨床助産ケア:スキルの強化, 9 (2) 21—28.
- 星旦二, 麻原きよみ(2016). これからの保健医療福祉行政論 第2版. 日本看護協会出版会. 12-27.

細川モモ(2015) 若い女性の食生活課題と対策－「まるのうち保健室」の取り組み－. 保健の科学, 57 (7) 465－469.

池田智子(2020). 一般住民における乳がん検診受診行動の実態－受診意図を踏まえた定期受診・不定期受診・未受診の特徴－. 母性衛生, 60(4), 551-559.

井上慶子, 久保雅史, 吉川千恵, 助産師一同(2020) 退院後の育児を見据えた取り組み. 助産雑誌, 74 (2) 99－103.

井上理絵, 富岡美佳(2019) 地域における更年期女性の健康支援実践の評価～女性の健康セミナーにおける効果の検討～. 山陽論叢, 25 1－8.

井谷美幸, 久保田昌詞, 行田建, 坂本能基, 大橋誠(2019) 更年期勤労女性のストレス調査とコーピングに関する個別指導効果の検討. 日本職業・災害医学会会誌, 67 (2) 125－130.

城向賢(2019). 女性のライフステージにおける更年期, 周閉経期の意義. 月刊地域医学, 33(12), 999-1003.

公益社団法人日本産科婦人科学会, <http://www.jsog.or.jp/>

公益社団法人日本産婦人科医会, <http://www.jaog.or.jp/>

木口圭子(2015) 当院の周産期医療に対する取り組みについて(3). 母性衛生, 55 (4) 学 3－学 12.

小宮ひろみ(2015). 性差医療－性差とライフステージを意識した健康支援－. 理学療法学, 42(8), 689-690.

厚生労働省(2013). 地域における保健師の保健活動について.
https://www.mhlw.go.jp/web/t_doc?dataId=00tb9310&dataType=1&pageNo=1

厚生労働省(2016a). 平成 26 年人口動態統計月報年計(概数) の概況
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai14/dl/gaikyou26.pdf>

厚生労働省(2016b). 低い日本の検診受診率 - がん対策推進企業アクション.
https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_2019/outline/low.html

厚生労働省(2018a). 女性の健康支援について.
http://www.gender.go.jp/kaigi/senmon/jyuuten_houshin/sidai/pdf/jyu13-03-1.pdf

厚生労働省(2018b). 生涯を通じた女性の健康支援事業.
https://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/dl/h30_jigyoyou03a_day2.pdf

厚生労働省(2019). e-ヘルスネット [情報提供]

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/food/ye-020.html>

笠井綾乃, 大熊蝶子, 大政智香, 流田由美子, 平林節子, 浦昌子(2018) 難民女性の出産・育児の支援における保健師の役割と連携のあり方. 千葉県保健活動業務研究集録, 19—21.

加瀬和也, 佐藤佳穂, 大坂裕美子, 西紅美江, 横山雅子, 山下敦志(2020) 周産期センターにおける薬剤師の取り組み. 薬事新報, 3147 7—11.

川下菜穂子, 相澤千絵, 岡邑和子, 熊町しのぶ, 宮川幸代, 渡邊竹美, 山本あい子, 工藤美子(2018) 女性のための健康相談室. 兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, 3, 15—16.

風間悦子(2015) 学生が栄養士の役割を地域、他職種から学ぶ～長野市との協働がん予防対策～. 日本栄養士会雑誌, 58 (12) 879.

馬嶋真子, 服部しげこ, 前田恵子, 榎裕美(2018) 女子大学生を対象とした貧血予防および改善に向けての食からのアプローチ. 健康医療科学研究, 8 27—33.

増井周子, 矢形真由美(2017) 精神疾患を持つ妊産婦への保健指導. 臨床助産ケア:スキルの強化, 9 (2), 8—14.

松永敏子, 結城智恵子(2004). 「更年期」を切り口に女性の健康支援を拡充する!. 保健師ジャーナル, 60(6), 522-528.

三田村七福子, 廣瀬えり(2017) 実践例①妊産婦の力を引き出す両親学級. ペリネイタルケア, 36 (1), 20—23.

三輪寿江, 伊藤雅子, 川崎有紀, 岸本玲子, 重水育美, 多賀佳子, 玉上麻美, 能勢圭子, 橋場英子, 橋本さとみ, 馬場早富, 羽室瞳, 増富由美, 松本奈美江, 渡邊和香(2015) 一般社団法人大阪府助産師会の取り組み～子育て・女性の健康支援センターの地域活動～. 大阪母性衛生学会雑誌, 51 (1), 17—19.

宮尾益理子, 大内尉義(2007). 性差医療の現状と課題について. 公衆衛生, 71(9), 730-734.

宮坂真千子, 三羽良枝(2015) ピアカウンセリングを取り入れたより良い更年期からの健康づくり～「メノポーズカフェ」の実践から～. 更年期と加齢のヘルスケア, 14 (1), 178—180.

本村絵里, 金城千賀子, 泉川留里子, 大畑尚子, 直海玲, 長岡弘子, 宮地佐和(2015). GDM 周産期母体管理 ～チーム医療で行う指導管理体制を目指して～. 沖縄県立中部病

院雑誌, 41, 22—24.

内閣府男女共同参画局(2015). 第4次男女共同参画基本計画.

http://www.gender.go.jp/about_danjo/basic_plans/4th/pdf/2-06.pdf

長坂桂子, 鈴木裕美, 井上泉子, 御手洗幸子, 梶山あゆ子, 近藤一成, 吉田幸成(2020) 市民公開講座開催で地域とつながる. 助産雑誌, 74 (1), 30—33.

永谷実穂(2018) キャンパス内の「女性健康相談室」. 助産雑誌, 72 (7), 514—518.

永谷実穂(2019) キャンパス内の「女性健康相談室」. 更年期と加齢のヘルスケア, 18 (1), 78—82.

西山依里, 渡井いずみ(2018). 就労妊婦を対象とした母親学級の内容と企画担当者による評価—地域におけるプログラム企画者へのインタビューと参与観察より—. 日本地域看護学会誌, 21 (3), 41—48.

中村由嘉子(2019). うつ病における心理教育 妊産婦の心理教育に求められるもの われわれの妊産婦コホート研究の成果から. 日本社会精神医学会雑誌, 28 (4), 407—411.

中西ひとみ(2015). 実践報告!私たちの助産師外来(第5回)切れ目のない支援を行う妊産婦の応援団. 臨床助産ケア :スキルの強化, 7 (6) 107—112.

中尾慶子(2016). 助産師外来に対する妊産婦の認識とローリスク妊婦健診の安全性 妊産婦・産婦人科医師のアンケート調査およびローリスク妊婦の分娩経過. 臨床助産ケア :スキルの強化, 8 (5) 95—103.

成田伸(2016). 周産期における医療の質と安全. 日本看護協会出版会.

野口正枝, 五十木孝子, 安武裕栄, 佐々木哲哉, 山田佐知子(2016). ピンクリボンかながわ10年の活動. 予防医学, 58.

野原理子(2015). 働く女性に優しい健康支援事例. 産業保健と看護, 7 (5), 386—387.

小田瑞恵(2009). 女性のライフサイクルの基本,女性ホルモンを知ろう!. デンタルハイジーン, 29(1), 98-100.

小田瑞恵(2009). 女性の健康づくりのために. デンタルハイジーン, 29(12), 1346-1348

岡田和子(2010). 女性の健康づくり支援事業 千葉県の取り組みと保健師が得たもの. 保健師ジャーナル, 66(3), 180-184.

岡田美穂, 岡田早里, 鮫島さとみ(2017). 特定妊婦への妊娠中からの指導と母子支援. 臨床助産ケア:スキルの強化, 9 (2), 15—20.

- 岡本佳明(2017). 「ひまわり村」—女性が輝く職場を目指して—. 小児歯科臨床, 22 (11), 34—39.
- 岡邑和子. 相澤千絵, 福本環, 川村麻由香, 熊町しのぶ, 宮川幸代, 渡邊竹美, 工藤美子 (2019). 女性のための健康相談室. 兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, 4 , 12—13.
- 岡邑和子. 相澤千絵, 鎌田奈津, 宮川幸代, 赤松恵美, 川下菜穂子, 山本あい子, 工藤美子(2016). 女性のための健康相談室. 兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, 1 , 16—18.
- 岡邑和子. 相澤千絵, 鎌田奈津, 川下菜穂子, 熊町しのぶ, 宮川幸代, 山本あい子, 工藤美子(2017). 女性のための健康相談室. 兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, 2 , 35—37.
- 太田加代(2015). 西播地区周産期連絡会の活動. 助産雑誌, 69 (11), 916—919.
- 佐藤みはる(2018). 地域で更年期の女性を支える. 助産雑誌, 72 (7) , 530—534.
- 佐藤みはる(2019). 地域で更年期女性の健康を支える. 更年期と加齢のヘルスケア, 18 (1) , 69—73.
- 佐藤喜根子, 齋藤恵里子, 及川真紀, 樋渡麻衣, 小山田信子, 佐藤眞理(2017). 施設と地域のワークシェアによる周産期女性に対する新たな健康教育支援体制の構築に向けた研究. 医療の広場, 57 (4), 15—19.
- 佐藤雄一(2018). 妊産婦への体重管理と栄養指導の重要性. 臨床助産ケア:スキルの強化, 10 (3), 62—66.
- 齊藤朋愛, 河地誉, 今井光枝, 杉原直樹, 高松潔, 野村武史(2016) 歯科医師が関わるチーム医療・多職種連携妊産婦医療への歯科の関わり. 歯科学報, 116 (4), 283—285.
- 作川絵理子, 大久保美鈴(2016). 16歳の妊産婦とパートナー、実母への支援. 臨床助産ケア:スキルの強化, 8 (3), 39—44.
- 清野仁美, 湖海正尋, 大門貴志, 松永寿人(2015). 多職種連携による精神障害患者の周産期管理. 総合病院精神医学, 27 (3), 198—205.
- 性差医療情報ネットワーク(NAHW), <http://www.nahw.or.jp/hospital-info>
- 関戸恵理子(2019). メノポーズカウンセラー取得後1年の活動報告と課題. 更年期と加齢のヘルスケア, 18 (2) , 268—272.
- 性差医療情報ネットワーク(NAHW), <http://www.nahw.or.jp/hospital-info>

- 清水幹子(2015). 妊娠期の助産ケア. 助産雑誌, 69 (5), 368—373.
- 荘村明彦(2018). 社会保障の手引き 2019年版. 中央法規出版株式会社. 316-317.
- 高橋真理, 村本淳子(2008). ウイメンズヘルスナーシング 女性のライフサイクルとナーシング 女性の生涯発達と看護. ニューヴェルヒロカワ, 4-7.
- 玉上麻美(2019). 妊娠にまつわる現状から女性の健康を考える—不妊症や流産を中心に—. 大阪市立大学看護学雑誌, 15, 27-29.
- 高橋由美子(2016) 周産期のメンタルヘルス ~妊娠から産後、そして次世代へ~. 群馬母性衛生, 64 29—33.
- 高橋由美子, 横田英巳, 松川幸英, 福田正人(2017). マタニティーホスピタルでの精神科診療. 精神科治療学, 32 (6) 767—772.
- 竹村民千佳, 服部律子(2018). 助産師による妊娠糖尿病妊産婦に対する多職種支援を活かした継続支援のあり方. 岐阜県立看護大学紀要, 18 (1), 3—14.
- 東保裕の介(2017). 出産教育 ペリネイタルビジットにおけるファミリーセンタードケア. 周産期医学, 47 (1) 39—42.
- 富田悦子(2017). フィットネスの現場における運動指導と栄養指導の相乗効果. 日本栄養士会雑誌, 60 (9) 510—511.
- 土屋まゆみ(2015). 専門職の実践場面や役割から学ぼう周産期看護から取り組む子ども虐待予防と早期発見. 小児看護, 38 (5), 637—643.
- 槻木直子, 岩國亜紀子, 菅野峰子, 原田紀子, 福島あや, 金英仙, 川村桃子, 川西貴志, 松田加代子, 吉原理恵, 西村智恵美, 箕浦洋子, 小巻京子, 相澤千絵, 川下菜穂子, 宮川幸代, 塩見美抄, 渡邊竹美, 工藤美子, 山本あい子(2018). 平成 29 年度周産期ケア研究センター活動報告. 兵庫県立大学地域ケア開発研究所研究活動報告集, 3, 21—29.
- Ueda Yutaka, Sobue Tomotaka, Morimoto Akiko, Egawa-Takata Tomomi, Hashizume Chie, Kishida Hisayo, Okamoto Satomi, Yoshino Kiyoshi, Fujita Masami, Enomoto Takayuki, Tomine Yoshimi, Fukuyoshi Jun, Kimura Tadashi(2015) Evaluation of a Free-Coupon Program for Cervical Cancer Screening Among the Young:A Nationally Funded Program Conducted by a Local Government in Japan. Journal of Epidemiology, 25 (1), 50—56.
- 梅原あゆみ(2017). 知的障害のある妊産婦および家族への支援. 臨床助産ケア:スキルの強

化, 9 (4), 53—62.

渡邊浩子, 板倉敦夫, 松崎政代(2019). 母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護. メジカルフレンド社.

渡邊輝子(2020). 周産期院内・院外連携システム「ペアレンティング・サポート」の立ち上げ. 臨床助産ケア :スキルの強化 , 12 (2), 87—89.

山縣然太郎(2015). 女性の健康をとりまく現状と課題. 公衆衛生, 79(2), 83-87.

山本みどり, 高橋美由紀, 名古美千代, 今村美知代, 山岡琴美, 加藤早月, 長田道, 東千尋, 貫戸明子, 小島理恵, 椎名昌美, 小山敦子, 辨野真理, 門林孝吉, 和田真貴子, 杉本幸恵, 藤本美香(2019). 大阪府との共催イベント「女性のためのがん講座」を開催して. CAMPUS HEALTH, 56 (1), 181—183.

山本記佐, 新田京子, 渥美邦枝(2019). 外国人妊産婦に対する豊かな出産体験のための助産ケアの検討. 浜松医療センター学術誌, 13 (1), 76—79.

吉沢豊予子(2018). 女性の健康とケア. 日本看護協会出版会.